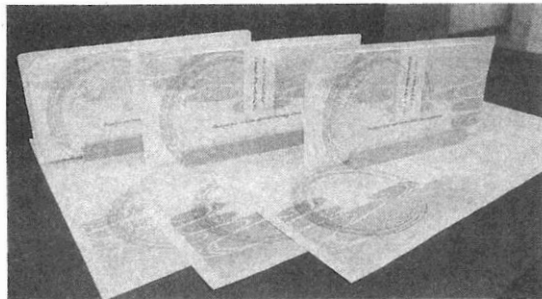


オフセット印刷やオンデマンド印刷、自史制作などを手掛ける春日井印刷(本社春日井市浅山町1の3の50、秋山弘社長、電話0568・81・3183)は、美濃和紙製のマスクケースと国産ヒノキを使った台座の販売を始めた。マスクケースの絵柄

春日井印刷

は、店舗や施設のイメージや顧客の要望に合わせてオリジナルでデザインし、台座に店名や企業名、メッセージなどを印刷することもできる。アフターコロナを見据え、飲食店や旅館、ホテル、結婚式場などにアピールする。(尾東・天野こず重)

国産ヒノキ台座とセット
店舗・施設に合うデザイン提案



「マスクケースと植込型」ランチョンマット



春日井印刷本社

発売したのは「マスクケースと植込型(ひのき)台座」。食事の際に、使用中のマスクを収めたマスクケースを台座の溝に挟み、スタンドのように使用する。テーブルの上に台座を置いても場所をとらず、マスクの付け外しもスムーズにできる。マスクケースの素材は和紙や耐水性用紙のほか、独自の方法で和紙に定着させた

製法は完全オーダーメイドで、顧客とのヒアリングでロゴやイメージ、用途などを確認し、同社のデザイナーがオリジナルのデザインを考案。用紙や形状、色なども総合的に提案する。ヒアリングから印刷までは1、2週間。10個程度からでも受け付ける。マスクケースと台座に合わせて、同柄のランチョンマットも製

美濃和紙でマスクケース



- 尾張支社
一宮市栄
2-14-29
アスティー宮
北館102号
電話 0586(72)5003
FAX 0586(72)6823
- 尾東支局
春日井市上条町
1-215
原ビル4階
電話 0568(41)9950
FAX 0568(41)9951
- 半田支局
半田市泉町1-4
新美ビル4階
電話 0569(24)6320
FAX 0569(24)6367

おかげさまで70周年を迎えます
尾西信用金庫
この街とともに70年ずっとあなたのそばに
未来につなげよう双葉の芽を
平日9:00-17:30(無料)
0120-102-305
https://www.bi-shim.co.jp/

新型コロナウイルスの影響が広がり始めた1年ほど前に、自分たちから訴求したり需要を見出したりできる商品が必要と考え、初の自社商品として開発した。

販売ターゲットとなる飲食店や宿泊施設は現在、厳しい経営を強いられているが、コロナ後の需要拡大を見据え、サンブルの送付や春日井商工会議所のオンライン展示会「かすがいeビジネスフォーラム」などでアピールしている。
営業部の吉田辰春氏は「この商品が自社商品拡充の足掛かりになり、会社のイメージアップにつながれば」と話している。